

インフォメーション

「ステップならしの」からのお知らせ

■60歳からのコミュニケーション術
～定年後を楽しく過ごすコツ～

日時：2/27(土) 13:30～15:30
講師：宮本厚士さん(シニアライフアドバイザー)
場所：サンロード6階大会議室
定員：50名程度
申込み：ステップならしの ☎047(453)9307

■子育て応援セミナー

「子どもへの接し方～一人ひとりの違いを見つめて～」
日時：3/6(土) 10:30～12:00
講師：内海崎貴子さん(川村学園女子大学准教授)
場所：こどもセンター学習室
定員：40名
保育あり(1歳～未就学児) 25名
申込み：こどもセンター ☎047(452)3711
ステップならしの ☎047(453)9307
こどもセンター・ステップならしの 共催

第6回「みんなでまちづくり」
が行なわれました

平成21年11月7日、8日に「みんなでまちづくり」がサンロード5・6階で行なわれました。
ステップならしのと市民協働インフォメーションルームの登録団体が、それぞれワークショップや展示など活動内容を発表しました。
今年も“こども”を統一テーマにし、子どもや親子を対象にした催しを企画しました。



「みんなでまちづくり」のワークショップにて

■「きらきら」編集委員募集

「きらきら」は男女共同参画社会づくりを推進する情報紙です。また、市民のボランティアで作成されています。あなたのアイデアを情報紙の企画、編集に活かしてみませんか。

対象：編集に興味のある人(年齢、性別、経験不問)
申込み：3/15までに住所、氏名、年齢、電話番号、職業、簡単な自己紹介を記入し、郵送またはFAXで。

住所：〒275-0016
市内津田沼5-12-12 サンロード津田沼5階
ステップならしの 男女共同参画センター 宛
☎047(453)9307 FAX 047(453)9327

女性の生き方相談

～ひとりで悩んでいませんか～
女性の専門相談員があなたと一緒に考えます

自分自身の生き方、職場の人間関係、男女のこと
夫婦のこと、家族のこと、DVのこと

無料 予約制 随時受付 秘密厳守

相談日(毎月第1・3金曜日/第2・4火曜日) 予定

2月	5日・9日(※)・19日・23日
3月	5日・9日・19日・23日
4月	2日・13日・16日・27日

相談時間 午前10時～12時・13時～16時
受付電話 047(453)9307(8時30分～17時)
※2月9日の相談時間は14時～19時となります。

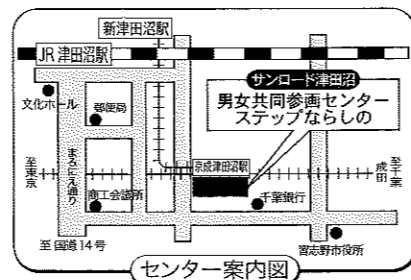
みなさまのご意見・ご感想をお待ちしております。

習志野市男女共同参画センター

ステップならしの

〒275-0016 習志野市津田沼5-12-12
サンロード津田沼 5階
Tel: 047(453)9307 Fax: 047(453)9327

開館時間：平日 9時～21時・土曜 9時～17時



センター案内図



個性を生かしつつ、あらゆる分野に参画できる社会をめざして

特集

自分のやりたいことへチャレンジ!
～やりがいと使命感をもって～

内閣府「男女のライフスタイルに関する意識調査」(平成21年)によると、「男女間の固定的な先入観を理由に、自分の希望とは違う選択をしたことがあるか」という問いに対し、「就職のときにあった」と回答した割合は、女性の方が男性よりも2倍強あり、固定的な性別役割分担意識が、個人の希望を阻害する場面があることがわかります。

男女共同参画社会基本法が制定されてから10年。性別にとらわれず、男女がともに能力を発揮する男女共同参画社会づくりが求められています。



寒くても外遊びが大好き! (谷津保育所・所庭にて)

〈編集後記〉「きらきら」は、公募による編集委員が企画、編集しています。

- ◆ 子どもの成長が楽しみと語る曾根さん。生命の大切さを伝えたいと言う鎌倉さん。素敵な二人でした。(山)
- ◆ お二人共男女の枠にとらわれず職場で信頼され生き生きと活躍されており、楽しい取材でした。(松)

次回発行は2010年7月の予定です

自分のやりたいことへチャレンジ!

～やりがいと使命感をもって～

「きらきら」インタビュー

女性の職場、男性の職場というイメージが強い職業分野において、男女にかかわらず活躍している方が増えてきています。習志野市の職員でも、現在保育士として男性3人、消防士として女性4人が勤務しています。今回は、市立谷津保育所保育士の曾根 航さん、消防本部指令課勤務の鎌倉裕美子さんにお仕事の様子をお聴きしました。

■今の職業を選んだきっかけ

曾根さん：高校の部活が終了進路を決める頃に、もともと子どもが好きだったこと、幼稚園の時にロッカーの角でケガをして泣いていたら、担任の先生から優しく声をかけてもらい、安心して落ち着くことができたという経験から、子どもと関わる仕事に憧れを持ち、保育士を志望しました。

鎌倉さん：学校卒業時に、内定していた会社から内定取り消しを受け、市の施設にアルバイトで勤務していました。その時の上司から、消防で初めての女性採用があると聞きました。いいチャンスと思い、きちんと仕事に就きたいし、人と違う仕事もやってみたいと思い志望しました。



かまくら ゆみこ
鎌倉 裕美子さん
消防士 消防本部指令課
勤務 30歳代
家族構成(父、母、妹)
H8年採用 女性第1号

■仕事内容や勤務の様子は

曾根さん：日中、お子さんを家庭と同じように、安心して過ごせるようお預かりする仕事です。勤務は通常8時30分から17時までですが、朝7時からの早番、19時までの遅番もあります。

鎌倉さん：指令課で勤務しています。119番通報を受け、消防車、救急車に出動の指令をする仕事です。勤務形態は24時間勤務の2交代制です。

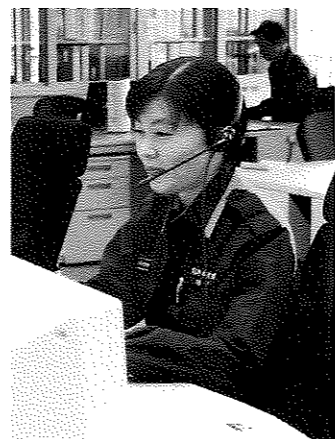


「はいポーズ」

■この仕事の魅力、ご苦労されていること

曾根さん：子どもたちの身体面、精神面におけるひとりひとりの成長を感じることができる仕事だと思います。子どもたちのできないことができるようになった時、ひと回り大きくなったと感じた時、この仕事をやってよかったと思いました。自分のどういった援助の仕方がその子の成長にどうつながっていくのか、そのかわり方が難しいですが、やりがいのある仕事です。

鎌倉さん：人の命にかかわるような仕事をしていることです。通報から指令までがスムーズにできて、状況に合った車両を上手く手配できた時や、利用者から後日お礼を言われたりする時は良かったと思います。電話をかけてくる方の中には、慌てて住所など言えない方もいらっしゃるのですが、その中から、うまく情報を聞き出すようにします。大変だと思うことは、災害、火災の時は、仮眠中でもすぐに起きて仕事にとりかかることです。

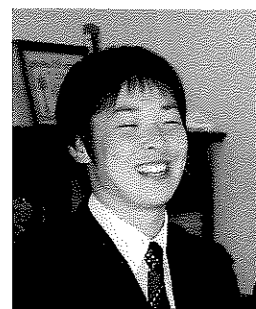


指令課にて

■女性(男性)の多い職場について

曾根さん：仕事に就いた頃は、周囲や子どもたちから珍しがられましたが、周囲の戸惑いは少なかったような気がします。男性だからといって力仕事ばかりするわけでもなく、普通に担任のクラスを受け持っていますので、男性も女性も普通に仕事をしています。女性の職場だからという不安は特にありませんでした。

鎌倉さん：初めは夜勤の設備も男性用しかなく、日勤の仕事からはいりませんが、徐々に整えられて女性の仮眠室もできました。職場は男性ばかりで馴染みづらい雰囲気はありましたが、周りの方が気を遣ってくれたせいか、それほど違和感を感じることなくやってきました。

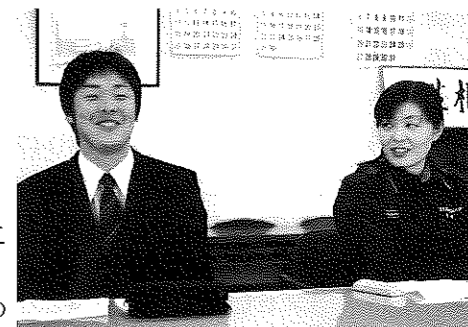


そね わたる
曾根 航さん
保育士 谷津保育所勤務
20歳代
家族構成(妻、子2人)
H18年採用

■お仕事に就かれた時のご家族や友人などの反応は

曾根さん：両親も自分の好きなことをやることに賛成してくれました。

鎌倉さん：家族は賛成してくれました。活発な性格ではなかったので、友人の中には「どうしたの」とびっくりする人もいました。



笑顔でインタビューに答えるお二人

■この仕事をめざしている方へひとこと

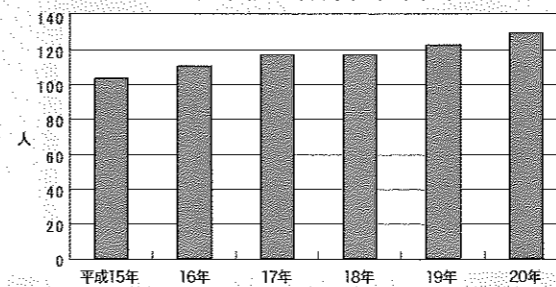
曾根さん：男の先生だから特別ということではなく、まず信頼関係を結ぶことが大切です。そして、お子さんを朝お預かりした時と同じように無事にお返すのが基本です。また、家庭でも父親としての役割があるように、男性の保育士しかできないことがきっとあると思います。男性でも保育士になりたい人がもっと増えてほしいと思います。

鎌倉さん：みんなで協力して災害に対応していく仕事なので、協調性が重要だと思います。また、不規則な仕事なので健康管理をしっかりすることも大切だと思います。

お二人とも、ご自分の仕事に誇りを持って日々を過ごしている様子がかげがえしました。また、職場やご家族の方々の理解も、働きやすい環境につながっているのではないのでしょうか。

関連情報

女性消防士数(千葉県内)



千葉県内の女性消防士数は、平成15年は104人(男女計7,592人)、平成20年は130人(男女計7,649人)となっており、徐々に増加しています。(千葉県ホームページより)

★保育士になるには

厚生労働大臣の指定する、保育士を養成する学校、施設での一定の科目を修得し卒業するか、都道府県の行なう保育士試験に合格することが必要。その後、都道府県の保育士登録簿に登録。採用は施設ごとに行なわれる。

★消防士になるには

日本の消防組織は、国の機関である消防庁と、地方自治体の消防本部、消防署、さらには消防団がある。大半の消防活動は自治体におかれた消防本部や消防署が行なう。採用は各自治体ごとに行なわれる。

「13歳のハローワーク」より

関連図書



「科学を選んだ女性たち」
おもしろそうぞどきどきワクワク探求心ウキウキ
WAスピックス 松本和子監修 オーム社
女の子だから理数系の科目は向いていないと決めつけず、好きな科目を勉強してみたいかがでしよう。この本の科学を選んだ女性たちのお話は楽しそうです。

図書の貸し出しができます

ステップならしの図書コーナーでは男女共同参画や市民活動に関する図書や資料が閲覧できます。図書は一人5冊、2週間貸し出しできます。どうぞご利用ください。



「13歳のハローワーク」
村上龍 著 幻冬舎

著者はできるだけ多くの子どもたちに、自分に向いた仕事を見つけたいと考えて、好奇心を対象別に分けてさまざまな仕事、職業を紹介しています。この中からあなたの好奇心の対象を探してみてください。